

健康医療 ビッグデータ解析と 健康社会の実現

私たちは、数百万箇所のゲノム(DNA)の違いをもって生まれてきます。ゲノムの違いは体質、病気に対するリスク、薬に対する反応の違いなどに関わっています。この遺伝的背景に環境要因、生活習慣が複雑に絡み合い、時に病気は発症します。

今、医療分野では、個人個人について、ゲノムデータに、受診レセプト・特定健診IoT等の時間軸を有する医療情報が加わり、健康状態がデータ化された健康医療ビッグデータが構築されつつあります。これらのビッグデータを基にして、個人の健康の再定義が始まっています。

本講演では、この分野の第一人者である井元教授が、ベイズ統計学と機械学習を基礎としたゲノムビッグデータ解析の最新事例を紹介し、その情報を人工知能を用い、如何に個人個人の健康の維持・向上、病気の治療に活用し、最終的に健康社会の実現へ繋げるのか、実際の取り組みを語ります。

入場無料

事前登録不要

定員250名(先着順)

2019.2/18(月)

16:00~17:30 (講演・質疑応答)

静岡大学浜松キャンパス共通講義棟2F 大講義室(開場15:30)
浜松市中区城北3-5-1

講演

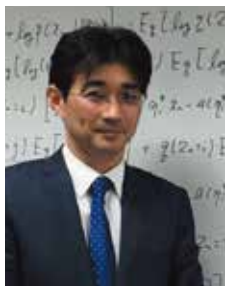
「統計科学、スパコン、人工知能による
健康医療ビッグデータ解析と健康社会の実現」

講師/東京大学医科学研究所ヘルスインテリジェンスセンター

井元 清哉 教授

参考URL ⇒ <http://hic-imsut.jp/index.html>

平成8年九州大学理学部数学科卒、平成11年JSPS特別研究員(統計科学)、平成13年九州大学より博士(数理学)。東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター博士研究員、助手、准教授を経て平成27年よりヘルスインテリジェンスセンター健康医療データサイエンス分野教授。平成28年厚労省医療統計参与。ヘルスインテリジェンスセンター長。スーパーコンピュータを用いゲノムや健康医療のデータから知識発見・予測を行う統計学理論、方法論の研究に従事。



国立大学法人
静岡大学

最新情報は情報学部ホームページをご覧ください。

<http://www.inf.shizuoka.ac.jp>



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

浜松駅北口バスターミナルの15番・16番乗場のバスはすべて静岡大学に停車します。